

題 材 名	本や小物を収納するために役立つ物をつくろう		
内容・項目	A－(3) アイウ		
指導時間	15時間		
題材のねらい (題材の特徴)	<p>材料と加工に関する技術を利用した製作品の製作として、木材、金属、プラスチックの加工が出来る教材を選んだ。この製作を通して、生活に役立つ技術の習得と習得した技術をもとに生活に役立つものを製作しようとする力の育成をねらいとしている。</p> <p>はじめに、ものづくりの大まかな流れを理解するための学習を行う。次に作品例の中より自分の生活の中で活用できるものを選び、作業工程の確認、部品表の作成など行う。同じ作品を製作する者同士をグループにした。(1グループ4人)製作の工程の中でお互いにアドバイスをしたり、疑問点や修正方法を話し合ったりできるように配慮した。最後に作品を相互評価・自己評価して、他の製作品の良さを見つけ、自分の製作の過程を振り返り、今後のものづくりに生かそうとする態度を身に付けさせたい。</p> <p>ここで取り扱う教材は、キングエースの「木・金・プラ融合ファイブ」の製作キットとした。木材、金属、プラスチックの加工ができ、5つの製作例が用意されている。</p>		
学習の流れ (展開の工夫)	時 間	指導項目	主な指導内容
	1時間	・製品を製作するための手順を理解する。	・ものづくりの大まかな流れをプレゼンテーションソフトを活用して、画像や動画を交えながらわかりやすく提示し、ワークシートの問題を解き、製作の手順を理解させる。【学ぶエネルギー】
	2時間	・製作の準備をする。	・説明書の5種類の作品例の中から、自分の生活の中で活用できるものを決定させる。また、製作技能が高い生徒は、製作難度が高いものを作るようにさせる。【意思決定能力】
	11時間	・製品を製作する。 (けがき、切断、部品加工、組み立て、塗装)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明書に補足説明を加え、製作上の留意点については、ワークシートにメモをさせる。さしがね、のこぎり、ベルトサンダー、かんな、きり、卓上ボール盤などの工具の正しい使用方法を説明・確認しながら安全に配慮して活動させる。 ・グループで作業を行い、お互いの作業工程を確認しながら、アドバイスをさせたい。また、加工が上手に行かない場合にはグループで話し合って相談し、原因を考えさせる。【かかわり】
	1時間	・お互いの作品を相互評価する。	・製作した作品の相互評価・自己評価を行う。その中で、他の製作品の良さを評価したり、自己の製作品のよさや課題を見つけ出し、今後のものづくりに生かす力を身に付けさせたい。【学ぶエネルギー、かかわり】

題材の紹介
と作品例



準備・材料等

木・金・プラ融合ファイブ (キングエース)

[本題材を考案するに当たって参考にしたもの]

- ・木・金・プラ融合ファイブ説明書
- ・中学校学習指導要領解説 技術・家庭科編